

**製品名: JNK ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03781**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 46,54 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK8 AI849689; c Jun N terminal kinase 1; C-JUN kinase 1; c-Jun N-terminal kinase 1; EC 2.7.11.24; JAK 1A; JAK1A; JNK 1; JNK 46; JNK; JNK-46; JNK1A2; JNK21B1/2; MAP kinase 8; MAPK 8; MAPK8; Mitogen activated protein kinase 8; Mitogen-activated protein kinase 8;
別名	MK08_HUMAN; p54 gamma; PRKM 8; PRKM8; Protein kinase JNK1; Protein kinase; mitogen-activated; 8; SAPK 1; SAPK gamma; SAPK1; Stress activated protein kinase JNK1; Stress-activated protein kinase 1; Stress-activated protein kinase JNK1; Tyrosine protein kinase JAK1 .

遺伝子 ID	5599
SwissProt ID	P45983
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

## 背景

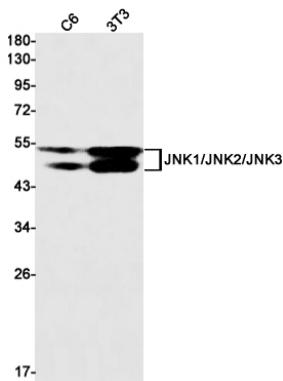
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAP キナーゼファミリーのメンバーです。MAP キナーゼは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは様々な細胞刺激によって活性化され、特定の転写因子を標的とすることで、細胞刺激に対する前初期遺伝子発現を媒介します。腫瘍壊死因子  $\alpha$  (TNF- $\alpha$ ) によるこのキナーゼの活性化は、TNF- $\alpha$  誘導性アポトーシスに必要であることが分かっています。このキナーゼは紫外線誘導性アポトーシスにも関与しており、これはシトクロム C を介した細胞死経路と関連していると考えられています。この遺伝子のマウス対応遺伝子を用いた研究では、このキナーゼが T 細胞の増殖、アポトーシス、および分化において重要な役割を果たすことが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

[RefSeq 提供、2016年4月]

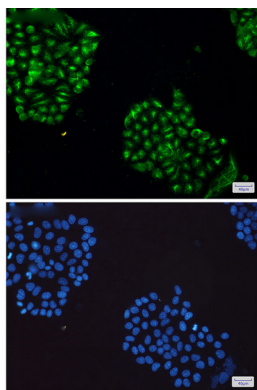
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



JNK 抗体を使用した C6、3T3 溶解物中の JNK1/2/3 のウエスタン プロット分析。



JNK1/2/3 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の JNK1/2/3 (緑) の免疫細胞化学分析